

NO.	種名称 (学名)	カテゴリー	解説	生活	声	見分け方	時期(月)												参考文献				
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
1	アオゲラ <i>Picus awokera</i>	キツツキ目 キツツキ科	体全体が緑色で腹側に横しまの目立つキツツキ類。日本の特産種で、本州、四国、九州、種子島、屋久島、佐渡島で繁殖の記録があり、普通にみられる。	平地から山地の林で繁殖し、あまり大きな移動はしないが、冬期は市街地近くの雑木林や公園の林などでも姿を見ることがある。アリスイを除き、キツツキ科の鳥は木の幹に縦にとまり、餌を探すことが多い。そのために足指は前後2本ずつ対趾足になっていて、くさび形の尾羽の羽軸は固く、体を支えるのに役立っている。林の生きた木の幹にくちばしで穴を掘って、5～8個の卵を産み、つがいで交互に抱卵する。	主として繁殖期に「ピョーピョー」と、笛のような大きな声で鳴く。地鳴きは「キョッキョッ」という。短く鋭い声である。また、飛び立つときに「ケレレレ」と鳴くことが多い。そのほか、木の幹をくちばしで叩いて「ドドド」というドラミングをする。	顔から首は灰色で頭と頬に赤色部があり、背中や黄緑色で腹部には黒いしま模様がある。本州以南では黄緑色のキツツキは本種だけである。北海道には腹部に黒い横しまのないヤマゲラが棲息している。																	山溪カラー名鑑『日本の野鳥』：山と溪谷社